

## BI研究所 第29回研究会

長らく、貧困や紛争の代名詞として語られてきたアフリカであるが、この10年間で、アフリカは著しい経済成長率を示す大陸としても世界に認知され始めた。さらに、現在10億人の人口は、2050年には20億人を超え、中国やインドを上回ると見られ、アフリカが巨大市場と化する現実が見えてきている。

しかし、その経済成長の一方で、サブサハラ（サハラ砂漠以南）アフリカ地域では現在、依然として全人口の約半分以上が1日1ドル未満で生活し、全世界49カ国ある後発開発途上国(LDC)のうちの33カ国が集中する地域でもある。世界的な資源価格の高騰、市場経済の加速化、外国投資の急増及び技術移転の加速で急速な経済成長を遂げる一方、深刻化する環境破壊と貧富差の拡大、伝統的価値観の崩壊等、多くの社会的課題が一気に噴出し始めているのもサブサハラである。

今回はサブサハラの中でも工業化を加速させ、年率6.9%(2014)の経済成長を遂げてきたケニアの名門ナイロビ大学から専門家をお招きし、同国における知的財産マネジメントとイノベーション、さらには日本と東部アフリカとの関係についてお話しいただく予定である。

司会 ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員 SHRESTHA, Manoj Lal

### テーマ： ケニアの経済発展とイノベーション —日本と東部アフリカの関係を考える—

講師： Prof. Dr. Bernard Murumbi Sihanya 教授

ナイロビ大学法科大学院教授（スタンフォード大学博士）

開催日時： 2016年1月29日（金）16:00～17:30

場所： 甲南大学 岡本キャンパス 第6会議室（9号館4階）

発言言語： 英語（日本語による通訳があります）

参加費： 無料

参加希望の方は、「氏名」と「1月29日研究会参加希望」と書いていただき、e-mailで [bi@center.konan-u.ac.jp](mailto:bi@center.konan-u.ac.jp) までご連絡ください。申し込み締め切り：2016年1月28日

